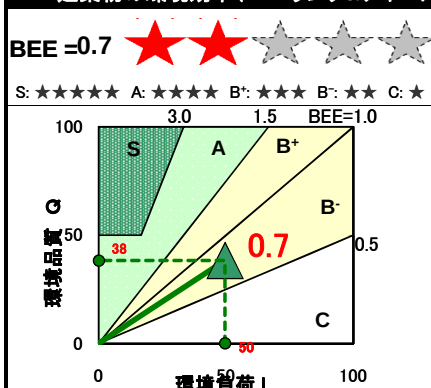


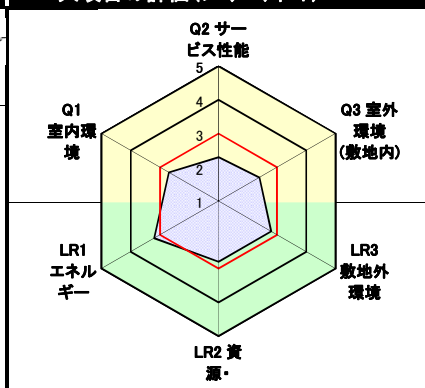
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海田シティホテル	階数	地上6F
建設地	広島市安芸区船越南3丁目2343番地	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	80 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年9月 予定	評価の実施日	2010年11月24日
敷地面積	760 m ²	作成者	山口尚興
建築面積	494 m ²	確認日	2010年11月29日
延床面積	2,221 m ²	確認者	奥田俊英



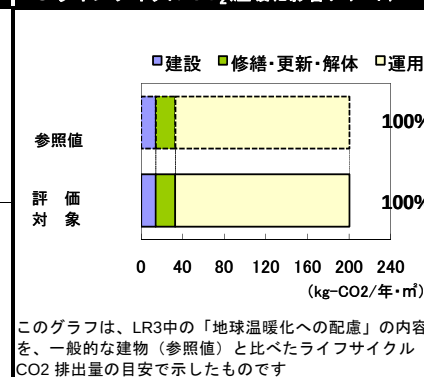
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

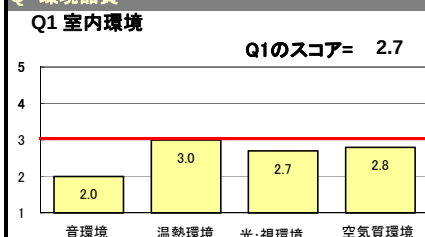


2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

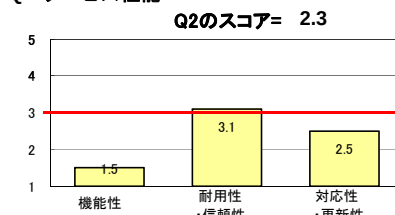


2-4 中項目の評価(バーチャート)

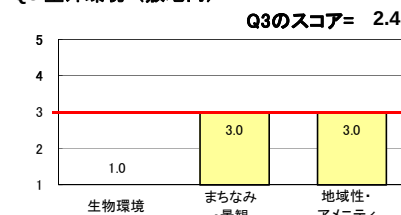
○ 環境品質



Q2 サービス性能

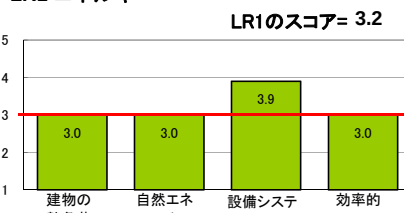


O3 室外環境（敷地内）

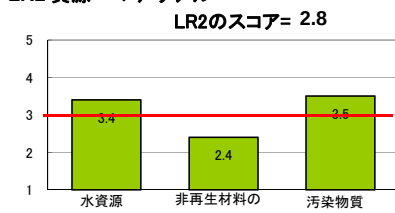


LR 環境負荷低減性

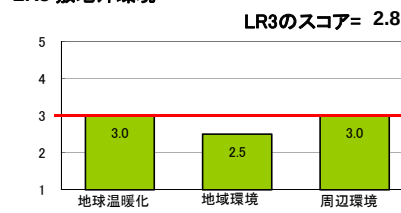
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 數地外環境



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア＝ 2.9

「地球温暖化対策」の推進 スコア＝ 3.0	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア＝ 1.8	「長寿命化対策」の推進 スコア＝ 3.2
設計の計画 ^上 特段に配慮した事項 遮音性能の配慮 / 省エネルギー性の配慮 / 省エネルギー性の配慮 / 省エネルギー性の配慮 / 節水型器具の採用 / 敷地外環境への配慮	設計の計画 ^上 特段に配慮した事項 室外環境へ配慮 / 交通負荷抑制へ配慮	設計の計画 ^上 特段に配慮した事項 外壁仕上げ材・設備配管の補修必要間隔の確保 / 空調配管の更新性の確保

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。